

01 財務部  
02 03 農林水産部  
04 経済産業部  
05 運輸部

Point

## 伝統的工芸品月間国民会議沖縄地区大会

経済産業部は、「伝統的工芸品月間」の11月に世界遺産識名園で沖縄の伝統的工芸品産業の振興を図るため、式典、イベントを6日間にわたって開催しました。

## 識名園伝統的工芸品 ウィークについて

伝統的工芸品とは伝統的手法を使って手作業でつくる歴史のある工芸品を経済産業大臣が指定するもので、沖縄においては、全国第3位の13品目が指定されています。

経済産業省では「伝統的工芸品月間」の11月に、小中学生を対象とする国画・作文コンクール表彰を執り行うとともに、(中国からの使節)のおもてなしの席でも振る舞われたとされる「ふくぶく茶」を用いての茶会を開催しました。ふくぶく茶会は、1ヶ月間を通して行われ、琉球衣装姿の中高生がお手前を披露しました。

また、「首里織秀作展」において

「工芸品産業の功労者の方々の表彰や小中学生を対象とする国画・作文コンクール表彰を執り行うとともに、(中国からの使節)のおもてなしの席でも振る舞われたとされ

る「ふくぶく茶」を用いての茶会を開

催しました。ふくぶく茶会は、1ヶ月間

を

開催しました。

は人間国宝宮平初子さんの作品

を

始めとする貴重な作品が展示

され、その中で琉球の古典音楽と

踊りが披露されました。「きものフ

アッシュンシヨー」では琉球古式姿の

国王、王妃の登場をオープニングに

開

催しました。

北は喜如嘉芭蕉布、南は与那国織

まですべての伝統的工芸品の織物

を身にまといたモテルが御殿(ウド

ウン)のステージで観客を魅了しま

した。「喜如嘉芭蕉布の糸づくり」

では高校生が地道で繊細な作業

を体験しました。

その他オキナワスタイルのブ

ロードマーチにおいては琉球漆器等を

用いての国際的な儀礼を学ぶ講習会、びんがた、琉球餅の製作体験コーナーなど多彩な催し物を行いました。

最終日には、「伝統的工芸品の未来を語ろう」をテーマに伝統的工芸品造りに携わる親子三組による

座談会を開催し、会場も交え熱い議論が展開されました。

連日、地元・観光客・小中高の児童生徒など多くの来園客で賑わい、特に19日(日)は、識名園開園以来最多の入園者数を記録しました。

